



## ◆ 第12回年次大会（信州大会）を開催致しました（御礼）

### 【JSDT 第12回年次大会（信州大会）対面】

おかげさまで、大会を無事に終了できました。大会に関わっていただいたすべての方に感謝申し上げます。

今大会は、大会の持続可能性を高めるために、「省エネ運営」をポリシーとして掲げて運営しました。具体的には、現金の取り扱いの取りやめ、ゴミの持ち帰りの協力、発表者自身による研究発表運営、掲示物の最小化等を行いました。ご不便をおかけしたかもしれませんが、運営の負担は最小限に抑えられました。働き方改革にもつながると思います。

中には、「本当に学会にお金がないのではないか」とご心配の声がありましたが、ご心配は不要です（笑）。ポイントになるのは会場費で、会場費に限っては会場によるとしか言えませんが、今回の大会は現状の参加費で十分に運営が可能でした。一方、これ以上のサービスを求めるとなると、参加費を値上げする必要があります。僕が所属している学会では、大会参加費（年会費も！）が1万円を超えるところもあります。資金が豊富な企業や研究者であれば問題ないかもしれませんが、本学会はおそらく自腹でご参加されている方々もたくさんいらっしゃると思いますので、できるだけ出費は抑えたいところだと個人的には願っています。大会をどうするべきかという問題は、関わる全員が当事者として考えるべき問題だと思っています。

もう一つの運営ポリシーとして「子どもフレンドリー」を挙げていました。今回はお子様を連れてご参加された方は、僕の観測範囲ではいらっしゃいませんでしたが、今後ぜひ継続してほしいと個人的に願っています。休日は家族のための時間でもあって、土日が休日の方が多数派の中で土日開催をするのであれば、子どもフレンドリーは必須なのではないかと思っています。

来年度以降の大会は、今大会のような運営を引き継ぐ必要は必ずしもないと考えています。大会ホストの事情に応じて、無理のない運営をしていくことが、関わる全員の利益になると思います。

来年度は昭和女子大学附属中学校・高等学校に大会ホストをお引き受けいただきました。みなさんと大会を盛り上げましょう！

日本デジタル教科書学会第12回年次大会 大会実行委員長 島田英昭  
日本デジタル教科書学会 会長 広瀬一弥

## ◆ 第12回年次大会（信州大会）において若手優秀賞、若手奨励賞を授与いたしました

本大会における若手優秀賞は、岩野牧人氏（大阪府立すながわ高等支援学校）「特別支援学校高等部音楽科のギター学習におけるアニメーションを用いた視覚支援教材の開発と活用」でした。また、若手奨励賞は、工藤綾乃氏（信州大学）「GIGA スクール構想の学習環境における外国人児童に対する教師の個別指導・支援に関する予備的調査」と、中村瑠香氏（信州大学）「小学校国語科のデジタル教科書における文章読み上げ機能の速度に対する児童の意識調査」の2件でした。どれもこれからの教育の在り方等を考える上で、貴重な研究であり、大変レベルの高いものでした。

これらの賞は、35歳以下の筆頭者を対象に、特に優れた研究を行った方に対して贈られるものです。今回、候補として14名がエントリーされ、5名の審査員により、著者名・所属・付記等を除いた予稿により「新規性」「論理性」「有用性」「将来性」の4観点を基に選考を進め、上位3名を選出し、3名の皆様からは大会当日に若手優秀賞受賞候補発表をしていただき、その内容を基に再度5名の審査員により総合的に審査を進め、賞を決定しました。



### 【若手優秀賞】

受賞者：岩野牧人氏（大阪府立すながわ高等支援学校）

特別支援学校高等部音楽科のギター学習におけるアニメーションを用いた視覚支援教材の開発と活用

### 【若手奨励賞】

受賞者：工藤綾乃氏（信州大学）

GIGA スクール構想の学習環境における外国人児童に対する教師の個別指導・支援に関する予備的調査

受賞者：中村瑠香氏（信州大学）

小学校国語科のデジタル教科書における文章読み上げ機能の速度に対する児童の意識調査

## ◆ 2023年度の体制について

2023年8月20日の総会において報告されました2023年度の体制について、ご報告をさせていただきます。

会 長	広瀬 一弥（亀岡市みらい教育リサーチセンター）
副会長	稲田 健実（福島県立平支援学校）
	片山 敏郎（新潟市教育委員会）-広報・組織担当-
	坂田 陽子（愛知淑徳大学）-研究・編集担当-

### ■研究委員会

委 員 長	稲田 健実（福島県立平支援学校）
副委員長	佐藤 和紀（信州大学教育学部）
委 員（50音順）	岩山 直樹（富山大学人間発達科学部附属小学校）
	竹中 章勝（奈良女子大学 金城学院大学 桃山学院大学）
	長谷川春生（富山大学大学院）

### ■編集委員会

委 員 長	島田 英昭（信州大学学術研究院教育学系）
副委員長	坂田 陽子（愛知淑徳大学）
委 員（50音順）	小林 祐紀（広報委員長兼任、茨城大学）
	蔵富 恵（岐阜聖徳学園大学）
	山口 大輔（桐蔭学園）

### ■広報委員会

委 員 長	小林 祐紀（茨城大学）
副委員長	水越 綾（杉野服飾大学）
（50音順）	足立 賢治（島根県情報教育研究会）
	一戸 信哉（敬和学園大学）
	大熊 太郎（昭和女子大学附属昭和小学校）
	大関 正人（新潟市立浜浦小学校）
	加藤 悦雄（大妻中学校高等学校）
	工藤 豪（昭和女子大学附属昭和小学校）
	反田 任（同志社中学校・高等学校）

### ■事務局

事務局 長	久富 望（京都大学教育学研究科）
副事務局 長	杉山 一郎（十日町市立馬場小学校）
事務局 員	上田 昌史（京都産業大学）
（50音順）	大滝 徳久（新潟市立総合教育センター）
	後藤 正樹（早稲田大学教育学研究科）

### ■第13回年次大会実行委員会

実行委員長	真下 峯子（昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校）
委員	加藤 悦雄（大妻中学高等学校）
	小川 諒大（昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校）
	栗田 一誠（昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校）
	大熊 太郎（昭和女子大学附属昭和小学校）
	工藤 豪（昭和女子大学附属昭和小学校）
	山本 周（聖学院中学校・高等学校）
	桑原 里美（大妻中学高等学校）

#### ■監事

反田 任（同志社中学校・高等学校）  
林 俊行（新潟市立亀田東小学校）

#### ■顧問（50音順）

岩居 弘樹（大阪大学）

#### ■ICT CONNECT 21 担当

担当理事 高瀬 浩之（松戸市立和名ヶ谷中学校）

## ◆ 第13回年次大会（東京大会）の開催について

2024年の日本デジタル教科書学会(JSDT)年次大会（東京大会）を、昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校にて開催予定です。日程は8月中旬～下旬を予定しております。

## ◆ 学会誌「日本デジタル教科書研究」への投稿募集

デジタル教科書研究の投稿論文を随時募集しています。一般論文、展望論文、実践論文の3つのカテゴリがありますが、実践論文を積極的に評価しています。原著論文ほどの厳密さがなくても、実験段階の理論を実践的に応用した研究、新しいアイデアの実践的検証等を報告論文として積極的に評価します。もちろんアカデミックな一般論文、展望論文も歓迎します。

デジタル教科書研究の詳細については、学会ウェブサイトをご覧ください。

<https://js-dt.jp/2013/12/3354/>

また、「実践研究論文化支援プロジェクト」の参加者も募集しています。優れた実践が多数あると思いますが、実践者は必ずしも実践効果の定量的評価や論文執筆の専門家ではないため、「学術研究として実践を公開して貢献したいが、論文執筆の方法がわからない」という方もいらっしゃると思います。

そこで、実践者から優れた実践を公募し、実践効果の定量的評価や論文執筆の専門家である本学会所属の研究者が協力することで、査読論文としての公開を支援するプロジェクトを実施しています。随時募集しています。相談だけでも結構です。知の蓄積に貢献しませんか？

詳細はウェブサイトをご覧ください。

[https://js-dt.jp/supprt\\_project-2/](https://js-dt.jp/supprt_project-2/)

論文の投稿、論文化支援プロジェクトへのお申し込み、お待ちしております。

デジタル教科書学会編集委員長 島田英昭（信州大学）